

公共用水域における PFOS 及び PFOA の調査

研究期間：令和3年度～令和4年度

宮城県保健環境センター 水環境部

研究の背景

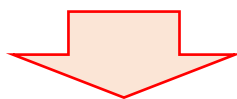
- PFOSはペルフルオロオクタンスルホン酸，PFOAはペルフルオロオクタン酸の略称で，いずれもフッ素を含む有機化合物の一種です。
- 撥水性と撥油性を併せ持つ特異な性質を有していることから，これまでに泡消火剤や半導体製造など様々な用途に使用されてきました。
- 化学的に極めて安定性が高く，水溶性かつ不揮発性の物質であるため，環境中に放出された場合には河川等に移行しやすく，また難分解性のため，**長期的に環境に残留する**ことが問題視されています。
- 人の健康への影響については，各国・各機関である程度の知見が集積されつつあるものの，現時点において，発がん性等の毒性について国際的に統一された評価値はありません。
- 河川や飲み水などにおける**暫定的な目標値**として，PFOS及びPFOAの合計値で**50 ng/L 以下**とされています。



採水地点の様子（鳴瀬川・小野橋）

研究の目的

- 宮城県内の公共用水域及び地下水におけるPFOS及びPFOAの**環境実態の調査**



人の健康の保護及び生活環境の保全に向けた
環境行政を行うためのデータを蓄積する

研究の内容

- 宮城県の環境基準点を中心とした県内主要河川における水質調査
- 宮城県の地下水における水質調査